

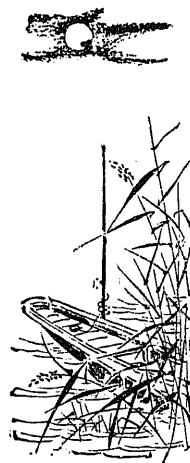
幼稚園新入児取扱につきて  
の心得

幼稚園保育につきては経験至つて淺きつる子の事  
で御座いますから新入児を取り扱ふたのも昨年  
が始めていとても委しい御話は出来ませんが折時  
々新設幼稚園の保姆かたさまに御質問をうけるを  
が御座いますので新學期の始めに至り幾分の御參  
考にもと新入児取扱につき左に一二心つきしと  
を御話いたします。

新入児取扱ひ方の心得

## 幼稚園新入児の取扱につきて

つ る 子



のどけき父の光、暖き母の慈愛のもとに育ち兄弟姉妹を友とし頼みの母を傳とし中には附添の子弟をたのみ只わがまゝに家庭に育つた子供達にとりては入園は實に生活上的一大變動で御座います何事にも急劇な變化は人の心身を害するもの殊に弱き幼児にとりては其の影響もまた大人に比して著しいと御座いますから保姆若し其取扱法に注意しませんならば幼児等はあるひは幼稚園を不快の場所とし或は保姆をこわきものと思ひあるひは幼児をして不平の念を抱かしめ心をつからしまだ幼児の身体を疲らす等保育が役目の幼稚園が却つて幼児をそこなふとなるので御座いますですから新入児取扱には先づ第一に「だん」に」といふこと「少しづゝ」といふをが何よりの必要で急劇は大の禁物在園時間の稼け方も附添を離れしむるをも幼稚園になれしむるとも急によい結果を見やうとあせらずだん／＼に少しづゝ家庭風より幼稚園風にならして行かねばなりません

# 一、在園時間

在園時間も幼稚園は大抵朝八時半にはじまりなら  
は終りは一時半位が並で御座いますが新入児を始  
めから此規定にあてしめるのは大の禁物の急劇に  
當りますのでよろしくない座つて居つた子供が腰  
かけにかけ勝手に遊んで居たものが保母の監督の  
ものに共同で遊ばなければならぬといふわけであ  
りますから新入園の當日の如きは幼兒等は在園一  
時間で歸宅せしむるも隨分よい運動になつて夜分  
は早く寝についたといふ程ですから入園當日の如  
きは一時間位保育して歸宅させ翌日は一時間と二  
十分間第三日目からは毎日十分位在園時間を増し  
て行き第五週目位から四時間第五週あたりから四  
時間半にうつすが尤も穏やかなやり方かと思はれ  
ます小學校でも最下級新入當時一學期間は三時間  
位で歸すところもありますから、

家庭にありて多くは不規律に間食した癖もあるべ  
く、辨當につきて

し左なくとも晝食前一度位は間食するが幼兒の常  
で御座いますから朝九時頃から始まりましても正  
午まで何もたべずにおくのは空腹を感じしむる事  
でありますから大抵十一時頃には食事させるのは  
宜しう御座いませうこぼさぬやうにたべさせやう  
には隨分保母の世話が入りますが何事も自治を貴  
ぶからといふて始めからひとりでと教へるのは  
可愛さうこれもあせらずだんぐりにひとりでやれ  
るやうに導く覺悟が入ります、

## 一、寝け方につきて

昔古人の教にも信せられざればいさめずといふと  
があります幼兒は訓令に先生を信用してかゝるも  
のではありますが入園當初まだ保母になづまず幼  
稚園になれるうちから「これは斯くせずばなら  
ず」「それはそうしちやいけぬ」やれ何やかやと寝  
けに口やかましくいたしますと子供は一圖に先生  
をこはきものと思ひ親しみ近くの心をふこしませ  
んそれでは保育の効果を十分つぎこむわけに參り

ませんから初め三四ヶ月間は主として子供、親しむを幼児を自分になづけると小供をして幼稚園を面白がらせる」と等に意用する他児の妨害にならず備附の物品等を毀損せぬ限りはなるべく自由に遊ばせ保母の幼児の一人となつておもしろく遊ばせるやう氣をつけねばなりません。

四、体育を主にすること  
上級の學校になるに従ひ智育を重んぜられ幼少な學校になるに従ひ体育が重んぜられるので幼稚園の下の頃の如きは心の發達よりは寧ろ体の發達が盛んな時でありますから新入兒には尤もこの体育に重きをふかねばならぬと思ひます従ひて保育事項の如きも手遊恩物等よりは内遊唱歌ことに外遊の時間を多くして清淨な空氣の中で盛んに遊ばしめ十分身体の發達を助くるやうつとめなければなりませんそれで室内保育の如きは外遊の疲れをやすめるために入室する位でよろしいと思はれますこれ等教育と異り外遊時間の保育に重きをおく

## 五、附添の離し方

これにはいろいろ考ふべきとも御座いますあまり長くなりますから次回にゆづるとにいたします。

骨相と才能との関係 慎惻なる人と痴鈍なる人の間に骨相上何等かの相違ありやとの問題に就きて英國劍橋大學のヘアソン教授は科學的に多年の研究を爲したる結果此程斷定して曰く多少の相違あるも其差は数千人を平均して得たる極めて微少なるものにして殆んど區別なしと稱するを得べし更に之を精細に説明すれば大きさと才智との間には多少の關係あるも單に頭の大きさに就きて才智の多少を判断する能はず若し之に依りて判断せんとするあらば大なる誤謬を生ず然れども人類を頭の大きさに依りて二種に分つときは頭の大なる方稍才智の優れるを發見すべし又頭の髪、形狀及び長さ等は才智と多少の關係を認め難きに非ざるも從來骨相家の認むる特長とは全然關係なしと